

第9回

町議会定例会

議案など23件を議決

第9回町議会定例会が9月3日(水)から17日(水)までの15日間で開かれ、令和6年度各会計歳入歳出決算の認定や議案など23件が議決されました。

今回の定例会では、前年度の各会計の決算が審議され、全ての会計で決算認定されました。詳細については、広報11月号でお知らせします。

このほか、一般会計と各会計補正予算が議決され、一般会計は4億627万5千円が増額されました。これにより



一般会計の歳入歳出予算の総額は70億481万1千円となりました。

主な補正の内容は、財政調整基金積立に400万円、かがみいしこども未来基金積立に1億6350万8千円、町道舗装修繕等に4830万円、プレミアム付商品券発行事業として3566万円などです。

また、教育委員会委員として藤島絵美さん(南町)の再任について同意を求め、可決

議席番号	議員名	所属委員会	役職
1	町島 洋一	産業厚生 広報広聴	副議長 広報広聴副委員長 議会運営委員
2	熊倉 正磨	産業厚生 広報広聴	広報広聴委員長
3	東 悟	広報広聴 総務文教	
4	根本 廣嗣	総務文教	総務文教副委員長 議会運営副委員長
5	稲田 和朝	産業厚生	産業厚生委員長 議会運営委員
6	込山 靖子	広報広聴 総務文教	町監査委員
7	吉田 孝司	産業厚生	
8	小林 政次	総務文教	議会運営委員
9	畑 幸一	総務文教 広報広聴	総務文教委員長 議会運営委員
10	円谷 寛	産業厚生 広報広聴	産業厚生副委員長 議会運営委員長
11	角田 真美	総務文教	議長



角田真美議長



町島洋一副議長

されました。藤島委員の任期は、令和7年10月1日から4年間です。

副議長に町島議員 各委員会構成が決定

9月議会では、角田真美議長、畑幸一副議長が辞表を提出し、角田議長の辞任は反対多数で続投、畑副議長の辞任は全会一致で可決され、副議長後任には、町島洋一議員が選出されました。

また、任期満了に伴い各常任委員会が改選され、各委員会の構成が決定しました。

令和6年度各会計決算状況

単位：千円

会計区分	歳入	歳出
一般会計	7,152,675	7,042,162
国民健康保険特別会計	1,231,544	1,223,743
後期高齢者医療特別会計	145,438	144,718
介護保険特別会計	1,293,086	1,228,047
土地取得事業特別会計	109	0
工業団地事業特別会計	45,367	44,314
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	137,952	135,011
育英資金貸付費特別会計	4,252	4,218
小計	10,010,423	9,822,213
水道事業会計	収益的	289,791
	資本的	63,795
	計	353,586
下水道事業会計	収益的	423,233
	資本的	354,838
	計	778,071
合計	11,142,080	11,519,857

町長説明要旨

電力・ガス・食料品等の物価高騰による家計への負担増を踏まえ、住民税非課税世帯に、1世帯あたり3万円を給付する事業と県補助事業の1世帯あたり6千円を給付する物価高騰対応所得世帯緊急支援事業については、7月末で完了したところです。

岡部将和氏を講師に迎えてドリブル教室を開催しました。今後は、陸上競技のトップアスリート教室、スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催するために準備を進めているところです。

今年度の主な主要事業の執行状況については、鳥見山陸上競技場リニューアル事業では、第35回牧場の朝少年少女サッカー大会に併せ、世界で活躍するドリブルデザイナー

また、今年5月から各行政区サロン等で開催しているまちづくりタウンミーティングについては、これまで各行政区や外郭団体の皆さんからいただいた町民の声を町政に反映させるとともに、町政の見える化ときめ細やかな行政の構築に、これからも一層努めていきたいと思っています。

鳥見山陸上競技場リニューアル記念事業

トップアスリート陸上教室

鳥見山陸上競技場リニューアル記念事業として、特別講師を迎え、第一小学校、第二小学校の6年生約130人を対象とした「トップアスリート陸上教室」が9月9日(火)に、鳥見山陸上競技場で行われました。

ゲスト講師には、北京五輪銀メダリストの朝原宣治さん、矢吹町出身で日本選手権400mで5回の優勝を誇る



モモ上げについて説明する朝原さん(写真右)

千葉麻美さん、郡山市出身で日本選手権800m優勝の田母神一喜さんを迎え、走るポイントなどを指導しました。

また、種目別指導者として中・長距離の中村美宇さんと佐藤靖弘さん、跳躍に羽田友哉さんと小松将広さん、ハードルの今駒英樹さんを迎えて、子どもたちの練習をサポートしました。

準備運動は、足腰だけでなく



スタート時の姿勢について説明する朝原さん(写真左)と千葉さん(写真中央)

く全身の関節を十分にほぐすため入念に時間をかけて行い、子どもたちもゲスト講師からのアドバイスを受けながら元氣よく挑戦しました。

種目別の指導では、朝原さんと千葉さんが短距離走で速く走る練習のポイントとして正しい姿勢とフォーム、モモ上げの重要性などを紹介し、全員で短い距離のモモ上げ走を行いながら、所要所でアドバイスを受けるなどしていました。

教室の最後にはゲスト講師も交えたリレーが行われ、子どもたちは、教わったことを実践しつつ、トップアスリートのスピードを体感しました。

鳥見山陸上競技場は、令和5年度にトラック及びインフィールドの全面改修工事、令和6年度にはメインスタンドの大規模改修工事を行いました。町教育委員会では、陸上競技場のリニューアルを記念して、今イベントを開催しました。

今後、リニューアル記念事業は、10月13日(月)午前中、町民参加型イベントを予定しています。

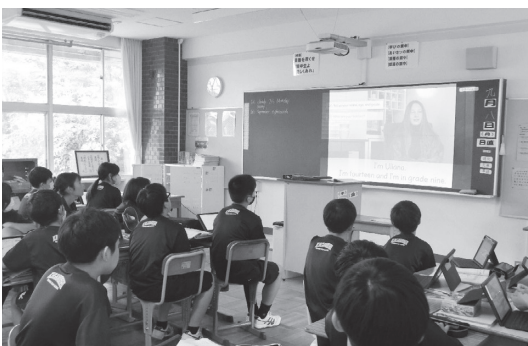
黒板プロジェクター導入

複数科目授業で有効活用

8月末に、鏡石中学校の通常教室及び特別支援学級に黒板プロジェクターが設置され、授業で活用されるようになりました。

この黒板プロジェクターは、昨年度から3年生のクラスを中心に先行導入されており、利用した生徒や教諭からの評判が良いことから、今年度は全学年、全クラスの教室に設置されることになりました。

黒板プロジェクターは、天井から吊り下げるタイプで、黒板と併用しながら授業を行うことができます。英語や数学の授業での活用が始まっており、今後は他の教科の授業でも活用される予定です。



黒板プロジェクターを使った授業を受ける生徒

<利用者の声>



テレビモニターと比べて画面が大きく、どの席からも見やすい (生徒)

生徒がタブレットで作成した資料を投影し、発表に活用できる (教諭)

